

## 第 29 回議会報告会 報告書

|           |  |  |           |
|-----------|--|--|-----------|
| 地域名       | 西谷地区   |  |           |
| 年月日       | 令和 8 年 4 月 20 日 (月)  | 会場名  | 西谷ふれあいの家  |
| 開始時間      | 19 時 00 分  | 終了時間   | 20 時 30 分 |
| 参加数       | 男性 20 人  | 女性 0 人   | 合計 20 人   |
| 班 長       | 石本 毅   | 司会者  | 谷垣 満      |
| 報告者       | 西垣 司   | 書記   | 北山 愛      |
| 班員名       | 石本 毅、北山 愛、西垣 司、谷垣 満  |  |           |
|           | 市 民  | 対 応  |           |
| 報告に対する質疑  | <p>① 経常収支比率の悪化や八鹿病院支援、人件費増加などにより、市の財政が非常に厳しくなっている。この先、地域や行政運営はどうなっていくのか不安である。</p> <p>② 給食センターの民間委託について、他市でコスト増や受託事業者撤退の事例もある。地域のノウハウや公共性が失われるのではないか。</p> <p>③ 市の車両管理などが一括外部委託されることで、地元事業者の仕事や利益が市外へ流出するのではないか。</p> | <p>① 財政状況は非常に厳しく、議会としても危機感を持っている。行政改革や組織見直しも必要であるが、市民サービスとのバランスを取りながら進める必要がある。また、市民への丁寧な説明と対話を重視していきたい。</p> <p>② 給食センター民間委託については、費用対効果やリスク検証が十分ではないとの意見が議会内にもあり、慎重な調査・検討が必要と考えている。総務文教常任委員会でも継続して調査していく。</p> <p>③ 地元事業者の維持は地域経済や雇用にとって重要である。市内経済循環の視点を大切にしながら、議会としても情報共有や提言を行っていきたい。</p> |           |
| 意見交換会での質疑 | <p>① 議会報告会が形式的に感じる。もっと地域に入り込み、集落ごとの実情を知り、市民と近い距離で対話してほしい。</p> <p>② 人口減少や高齢化が進む中で、今後、地域が見捨てられてしまうのではないかと不安である。</p>  | <p>① 地域ごとの課題や暮らしの実情を理解することは重要であり、議会としても今後の報告会や地域との関わり方について検討していきたい。</p> <p>② 地域を見捨てないという視点は非常に重要であり、議会としても共有している。地域の支え合いやつながりを活かした地域づくりを進めていく必要がある。</p>  |           |

| 市 民           |   | 対 応  |
|---------------|---|--|
| その他<br>(提言など) | <p>① 地域にもっと入り込み、集落単位での座談会のような形で対話をしてほしい。</p> <p>② 地域の困りごとを一般質問や政策提言につなげてほしい。</p> <p>③ 非核平和都市宣言を議会が行ったのはよいことだが、継続した活動をお願いしたい。チラシ配付による啓蒙や議会が決議した3月26日に合わせてアクションを起こすなどの見える活動をお願いしたい。</p> | <p>① 地域の実情に応じた居場所づくりやコミュニティ形成は重要であり、今後の地域づくりの中でも検討していきたい。</p> <p>② 議員活動や議会の取組を、よりわかりやすく伝えていけるよう工夫していきたい。</p> <p>③ 宣言以降にも、北朝鮮のミサイル発射に対する抗議文や、ロシアのウクライナ侵攻に対する決議等を行ってきた。一般質問でも取り上げられており、個々の議員が問題意識をもって取り組んでいる。ご意見として受け止めたい。</p> |
| 備考            |   |  |

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和8年5月15日

報告者 2班 班長 石本 毅